

山口県海外ビジネスサポートデスク 通信

7月号



台東 三仙台

今月のデスク活動

【サポートデスクメニュー】

□海外展開に関する相談 □各種調査・情報提供 □セミナー開催 □販路開拓・商談サポート支援 □展示会出展支援

個別相談をお受けしております！

中小企業の皆様、海外展開のお悩み等がございましたら、お気軽にサポートデスクへご相談ください！

現地の情報提供から、販路先の開拓等、各種サポートメニューをご利用くださいませ。

半導体分野の国際展示会「SEMICON TAIWAN2024」出展準備中！

9月4日から3日間、台湾で開催される半導体産業及び関連部品を対象とする展示会「SEMICON TAIWAN2024」に山口県ブースとして出展します。現在事前マッチングに向けて、出展企業5社が希望する商談先である、現地企業のリストアップや事前連絡を行っております。

※SEMICON TAIWAN オフィシャルサイト(<https://www.semicontaiwan.org/en/>)

【2023年実績】

来場者数 : 62,000人

出展社数 : 950社 参照: JETRO 世界の見本市・展示会情報 (J-messe)

第1回 山口県海外ビジネスデスク「海外展開支援」セミナーを開催しました！

- ・開催日時：2024年7月12日 13:00~15:20(15:20~15:30 質疑応答、名刺交換)
- ・会場：山口グランドホテル〔末広〕山口市小郡黄金町1丁目1-1
- ・参加対象：山口県内の中小企業
- ・参加方法：会場参加またはオンライン(Zoom)

※参加費：無料

事例

創業 100 年近い歴史をもつ食品製造企業からのご相談です。

インドネシアを拠点に、こんにやく原料及び製品製造販売を実施、今後世界中に向けての販売を計画中。台湾、ベトナム、タイ、マレーシアを対象に、各種情報収集のうえ、販路開拓を進める予定とのこと。

⇒利用メニュー 海外展開に関する相談、各種情報収集、販路開拓

現地の市場情報及び販売先の情報提供を希望され、進め方についてまずサポートデスクとオンラインミーティングを行いました。現地市場の情報提供をとおして、事業展開の優先順位を確認・今後のご提案も行いました。

販路開拓に際して、企業それぞれが抱える課題が異なることは十分認識しております。

どのようなお悩みごとでも結構です、何か気になることがあればお気軽にご相談ください！

(文責：株式会社日本アシスト 張)

現地からお届け！ 最旬情報 -台湾編-

現地の生の情報がリアルタイムでお伝えしていきます！

毎月各国・地域の「旬」な情報を現地からお届けいたします！

第 2 回は台湾オフィスよりお届け。

～台湾経済の状況はどうか？

～円安はどのような影響をもたらすか？

...

そんな皆様が気になる疑問にお答えします。



台湾経済の最新状況と今後の見通し

2023 年の台湾経済は半導体業界の不振や中国の経済減速が輸出の落ち込みに大きく影響しました。輸出は 7 年ぶりにマイナス成長、企業の設備投資もかなり減少しました。しかし、民間消費は 8.41%増加し、経済全体を支える重要な役割を果たし、成長率は 1.40%に達しました。

それに 2023 年末の好転し始めたきざしとしては、2023 年第 4 四半期に 5.12%の成長率を達成し、特に人工知能 (AI) 向けのサーバー等の輸出が好調だったことが背景にあります。この回復は、デジタル需要の反動から脱却し始めたことを示しています。

2024 年に向けた展望は、中華経済研究院をはじめ各大手シンクタンクの予測によると、成長率は 3.10%に達すると見られています。この予測は、民間消費の持続的な伸びや輸出、投資の回復が背景にあります。但し、世界各国の金融政策の変動や最大の貿易相手国である中国の経済動向等、不確定要素も多いとされています。

台湾の最新情報

台湾は「低賃金・高物価」の職場地獄？基本給は 8 年連続で引き上げられているが、依然としてインフレ率に追いついていない状況です。

行政院主計處が最近発表した 6 月の消費者物価指数 (C P I) は年率 2.42%となり、4 カ月連続で上昇傾向を維持しました。野菜果物、卵、家賃、医療費、電気料金、交通サービス、更に金の宝飾品や理美容の価格に至るまで、様々な物価指標を観察すると、いずれも緩やかな上昇傾向を示しています。経済全体、産業構造、地政学による大規模な

サプライチェーンの再編、更には世界貿易戦争の激化等の構造的要因の変化により、台湾は実際に持続的なインフレの時代に入りました。ビジネス業界は生産要素の価格上昇という課題に直面しているし、消費者は緩やかな価格上昇という新たな現実に対応するために精神を調整するや対策をとる必要があります。

また台湾では外食の割合が高いため、このような状況に直面し、消費習慣を整えるだけでなく、台湾の多くの若者がインフレ対策として少額の株式投資を始めています。台湾のインデックス型ファンドでも取引高が大幅に増加していることがわかります。

円安に対し台湾人の日本への旅行意欲

2023年に日本を訪れた台湾人観光客は延べ422万5,000人、同年に台湾を訪れた日本人観光客は延べ92万8,000人となりました。コロナウイルス流行前の2019年に比べ、台湾から日本への観光客数は86%も回復しましたが、日本は40%しか回復していない状況です。日本は台湾人にとって最も人気の旅行国であり、特に最近では日本円と台湾ドルの為替レートが安値を更新しており、それに台湾の国内旅行の価格が高止まりしていることが海外観光客の増加を促しています。

しかし、円安になっても日本への団体旅行は高くなりますが、これは日本のサービス産業における労働力不足やインフレによる燃料や商品の価格上昇と密接に関係しています。台湾は今夏休み中で、台湾と日本を結ぶ定期航空便が増えています。7/12から7/15まで旅行業界の展示会、2024台北国際夏季旅展（サマートラベルエキスポ、STE）が台北世界貿易センター展示場1館（台北世貿1館、信義区）で開催されています。

日本から数多くの地方政府がブースを出して観光誘致に力を入れています。やはり日本は台湾人にとって魅力的な存在です。

最後に

日本は台湾の重要な経済パートナーであります。コロナウイルス流行後の時代と世界市場の変化に直面して、台湾はデジタルトランスフォーメーションとネットゼロを積極的に推進しており、これは日本が推進する方向性と一致しており、両国は半導体、イノベーション、ハイエンド製造業、グリーン産業において協力の機会が増えています。またこのプラットフォームでの様々な支援とマッチング活動を通じて台湾と日本企業は今後も経済貿易パートナーシップを深め、産業分野を通じて既存産業の生産競争力を強化していくと考えています。両国間の技術協力を強化し、新興市場との協力分野を徐々に拡大し、完全な海外ネットワークを構築することも期待できるでしょう。

（文責：台日展盟商務有限公司 総経理 黄 啓修）

